

## 教員採用検査模擬面接

和歌山大学の平成21年3月卒業者の教員就職率は、国立の教員養成大学・学部の中で全国2位である。(文科省、高等教育局専門教育課教員養成企画室)この位置になるには、就職試験を受ける学生たち本人の頑張りであるのは勿論のことであるが、教職・キャリア支援室の努力がある。そして、この模擬面接もその一翼を担っているといえよう。紀学同窓会へ教育学部長より模擬面接の依頼があることで分かる。この依頼にしっかり応えようと、外部面接員(紀学同窓会員)は面接員として臨んでいる。

本年も6月24日と7月9日両日 13:00~17:00 の二回の模擬面接を行った。

日 時	面接を受けた学生 (学部4回生・大学院生・専攻科生)	班 数	面接員	
			外部面接員	学内(教授等)
6月24日	60名	11班	11名	11名
7月 9日	59名	11班	11名	11名
	計119名	22班	のべ22名	22名

一人の面接時間は、30分(面接時間20分、アドバイスの時間10分)となっている。

面接員は学生から提出されているエントリーシートを面接前の「面接員打ち合わせ会」で渡され、目を通す。そして、模擬面接に臨むのである。以下、ある学生の模擬面接を紹介する。

面接に入るとすぐに、1分間で自己アピールを求められる。さすが、学生、「立て板に水」という感じで素晴らしく自己アピールすることができる。が、そこからが模擬面接の本番、事前に出されたエントリーシートと自己アピールの内容から質問が次々と面接員から寄せられる。それに対して学生は答える。学生が答えた点をさらに追及される。学生が返答に困る場面もしばしばあった。学生からすれば想定外の質問が出るからだろう。面接の20分は終わる。

そしてアドバイスの10分。アドバイスでは、学生の長所を生かせるように、また、弱点や気になることなど、本番までに強化しておくようにと指導する。

最後に、その場で評価表が渡される。評価には、面接の評価、並びにアドバイスも書かれている。学生は、面接の部屋から出て、その評価表に見入り、そして、その評価やアドバイスに頷いていたことが印象的であった。

写真は7月9日の第一班の風景である。





面接員は、外部面接員の第15期卒の片桐清司元校長（和歌山市）、学内面接員の元学部長の藤本清二郎教授、のお二方である。面接は、外部面接員が主として質問をするということになっている。



面接の方に良い印象を与える礼の仕方なども具体的に指導する場面も…。



面接員として厳しい言葉を発するが、本番で面接がうまくいくようにと祈りつつ、模擬面接を終えた。

## 模擬面接の機会のお陰で無事合格

模擬面接は私にきっかけを与えてくれるものでした。

友達とも面接練習はしていましたが、知らない人達からの面接は初めてでした。けれど本番の面接もそうなのだから、不安とか言ってもらえません。面接慣れをするという気持ちで臨みました。

面接官の先生方は面接が終わった後にアドバイスを言ってくれます。今まで曖昧に面接練習をしてきた私ですが、その私に何が足りていないのか的確に教えていただきました。そのアドバイスを受けて、本番までの面接練習は目的を持って行うことができました。そして、試験当日の面接も目的を持って行くことができました。

模擬面接は今までの私を見つめ直し、これからの私を変えていくきっかけとなりました。本当に感謝をしています。ありがとうございました。

（大阪府小学校合格 女子）

教員採用試験直前の模擬面接は、自分の弱点を知るよい機会となりました。模擬面接までは筆記の勉強が中心で、面接対策が疎かになっていました。実際に本番さながらの雰囲気模擬面接をしてみると質問の受け答えが思い通りに出来ず、面接対策の大切さが分かりました。試験本番までは時間が少なく焦りもありましたが、この模擬面接がきっかけで友達と誘い合って面接対策を行いました。予想される質問で議論したり、立ち振る舞いや表情にも気をつけたりしました。また、模擬面接で戴いたアドバイスを参考に、面接官により良

い印象を持って貰えるように練習しました。練習の甲斐あって、本番では無事に面接を乗り切ることができました。

試験直前の模擬面接は、自分の到達度を知るのに最適で、また、本番に向けて気を引き締めるのにもよい機会となりました。教員採用試験では人物重視が言われており、面接の比重が高くなってきますので、今回の模擬面接には本当に感謝しています。

(和歌山県小学校合格 男子)